

編集

三好市役所秘書広報課

〒778-8501

徳島県三好市池田町シンマチ

1500番地2

☎0883-72-7646

<http://www.city-miyoshi.jp/>

□ 編集後記

今年はずっとより早く梅雨入りし、外出する機会が減りました。イベントも雨で中止といったものもあり、予定していた取材ができなかったということもありました。

しかし、雨の日こそ外出するというのもいいものです。カメラを持ってファインダー越しに見る風景は、見慣れた場所でもまるで違った情緒ある風景に見えます。雨の日には家でくつろいだり、パチンコに行くのもいいですが、カメラを持って外出してみませんか？

(広報係より)

三好市探訪



こなきじじい 児啼爺

— 三好市山城町上名 —

大歩危峡の国道から県道を1.5kmほど西に入った谷沿いに、児啼爺（こなきじじい）の石像が立っています。

昭和13年、民俗学者の柳田国男氏は「阿波の山間に住む妖怪」として、児啼爺を民俗学研究誌に発表しました。その後、児啼爺は水木しげるさんの漫画「ゲゲゲの鬼太郎」の名脇役として全国に広く知られましたが、阿波のどこの妖怪なのかは謎のままでした。

平成13年に阿南市在住の多喜田昌裕氏によって「阿波三好郡三名村字平に伝わっていた妖怪」であることを記した文献が発見され、山城町上名地区が児啼爺のふるさとということが判明しました。

地元で活動する藤川谷の会では、この事実を後世に広く伝えようと児啼爺の石像建立を企画、石造建立にかかる費用協力をインターネット等で全国に呼びかけたところ、約300万円もの募金が寄せられ、高さ約90センチの児啼爺の像が建てられました。石像台座の文字は水木しげる氏、碑文は作家の京極夏彦氏の書によるものです。

藤川谷の会は秋の紅葉時期に妖怪もみじ祭りを開催しており、町内外から毎年500人を超える人が訪れています。